

平成23年3月31日現在

機関番号：21601

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19592503

研究課題名（和文） 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況

研究課題名（英文） Social support, psychological and physical states among elderly Japanese women with breast cancer

研究代表者

真壁 玲子 (MAKABE REIKO)

福島県立医科大学・看護学部・教授

研究者番号：70294098

研究成果の概要（和文）：

本研究は、日本人老年期乳がん体験者のソーシャル・サポート、ソーシャル・サポート・ネットワーク、精神的・身体的状況の実態と関連を明らかにすることを目的に行われた。精神的状況はソーシャル・サポート・ネットワーク及びコンフリクトに有意相関を示した。重回帰分析により、精神的状況に最も影響する要因としてソーシャル・サポート・ネットワーク、次にコンフリクトという結果を示し、日本人老年期乳がん体験者の精神的状況に影響する重要な要因であることが明らかとなった。

研究成果の概要（英文）：

The purpose of this study was to describe and investigate the relationships among social support, social support network, and psychological and physical states among elderly Japanese women with breast cancer. Psychological states significantly correlated with social support network and conflict. Stepwise multiple regression analysis showed that social support network was the most influencing factor on psychological states, followed by conflict. The findings suggest that conflict and social support network were important factors for the women's psychological states.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
2009年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：がん看護学

科研費の分科・細目：臨床看護学

キーワード：老年期，乳がん体験者，ソーシャル・サポート，精神的状況，身体的状況

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 西欧諸国において、ソーシャル・サポートは、精神的・身体的状況という健康への影響があると報告されている。日本人女性の乳がん罹患率は増加傾向にあり、乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況との関連は研究されつつある。しかし、その研究報告数は少なく、さらに、老年期乳がん体験者に焦点を当てた研究報告は無い。

ソーシャル・サポートは、人と人との関係から成り立ち、社会的、文化的な背景により相違がある。また、老年期乳がん体験者を対象者とした場合、老年期というライフサイクルにおける発達課題の特性を踏まえた検討が必要である。

(2) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートを記述し、ソーシャル・サポートと精神的・身体的状況の実態と関連を明らかにすることは、対象者のソーシャル・サポート、精神的・身体的状況に関するアセスメントを行うこと、情報を提供すること、健康状況を維持・増進するための看護実践活用を可能とする。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートを記述し、ソーシャル・サポートと精神的・身体的状況の実態と関連を明らかにすることである。具体的な研究目標は、以下の通りである。

(1) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートのタイプとその内容を明らかにする。

(2) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートの提供者であるソーシャル・サポート・ネットワークを明らかにする。

(3) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況の実態を明らかにする。

(4) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況の関連を明らかにする。

(5) 老年期乳がん体験者のソーシャル・サ

ポートと精神的・身体的状況の実態と関連からより良いケア提供を検討する。

## 3. 研究の方法

(1) 対象者は、「乳がん」と診断・告知を受け入院治療を終了し、外来において経過観察中の65歳以上の女性であった。

(2) データ収集は、以下の①～⑤の測定用具を用いた。

①インタビューガイド

②高齢者用ソーシャル・サポート質問紙

③精神健康調査票

④身体的状況調査表

⑤医学的データ調査票

(3) データ収集方法・手順は、研究対象者が、「同意書」へ署名した後、面接法及び自記式質問紙調査法によりデータ収集を行った。

(4) データ分析

面接により得た質的データは内容分析により、他の量的データは記述統計、t検定、ピアソン積率相関係数及び重回帰分析により分析を行った。

(5) 倫理的配慮

福島県立医科大学倫理委員会およびデータ収集のフィールドである医療施設の倫理委員会に研究計画書を提出し承認された。研究者が研究計画書に記載された内容に基づいて対象者個々に説明し、対象者の「同意書」への署名を得た後、データ収集を開始した。

## 4. 研究成果

(1) ソーシャル・サポート・ネットワークサイズは2から34人(M=9.09; SD=6.57)であった。これは、全年齢層の乳がん体験者を対象とした先行研究より有意に小さい結果であった。

ソーシャル・サポートのタイプは、①情緒

的サポートの捉え、②道具的サポートの受領、③乳がん体験に関する情報の提供、④健康問題を持つ家族員へのケアの提供、⑤コンフリクトな体験であった。ソーシャル・サポートのタイプをさらにソーシャル・サポートの側面として検討すると、①と②はプラスの側面、③と④は互惠性、⑤はマイナス側面であった。

(2) ソーシャル・サポート・ネットワークの主な構成員は配偶者、娘、息子、姉妹、友人、その他の重要他者であった。他の先行研究とほぼ同様であった。

(3) 身体的状況は他の乳がん体験者とのコンタクトと有意相関を示した。コンフリクトと身体的状況は、他の患者とのコンタクトの有群と無群の群間に有意差を示した。精神的状況はソーシャル・サポート・ネットワーク及びコンフリクトと有意相関を示した。

(4) 精神的状況は70歳未満群か、70歳以上群の群間に有意差を示した。70歳未満群の方が、70歳以上群よりも良い精神的健康状況を示した。

さらに、他の乳がん体験者とのコンタクトの有無により身体的状況とコンフリクトに有意差を示した。他の乳がん体験者とのコンタクト有群は、コンタクト無群よりも身体的な症状がより多く、また、コンフリクトがより高い結果であった。

(5) 精神的状況に最も影響する要因として、ソーシャル・サポート・ネットワークとコンフリクトであった。

このような結果から、ソーシャル・サポート・ネットワークとコンフリクトは、乳がん体験者の精神的状況にとって、重要な要因であることが示唆された。医療者は、日本人老年期乳がん体験者にソーシャル・サポートに関する情報を提供する必要があること、ソーシャル・サポートと精神的・身体的状況に関する実態と関連の一連の体験として探究す

る研究の必要性が示唆された。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

- ① 真壁玲子, 大竹徹, 野水整. 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポート: 内容分析による構成要素の検討, がん看護, 査読有, 15, 2010. 559 - 565.
- ② 真壁玲子. 老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートに関する研究の動向と今後の課題: 英文献からの検討, 査読有, がん看護, 査読有, 15, 2010, 374 -381.
- ③ 真壁玲子, 野水整. 乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況: 手術後2年までの縦断的研究, がん看護, 査読有, 13, 2008. 762-768.
- ④ Makabe, R., & Nomizu, T. Social Support, and Psychological and Physical States among Japanese Women with Breast Cancer before and after Breast Surgery, Oncology Nursing Forum, 査読有, 34, 2007, 883-889.

[学会発表] (計6件)

- ① Makabe, R., Ohtake, T., & Nomizu, T. Relationships of Social Support, Psychological and Physical States Among Japanese Elderly Women with Breast Cancer: Focused on Predictive Factors on Psychological States. The 12<sup>th</sup> World Congress of Psycho-Oncology, 5/27/2010. Quebec City, Canada.
- ② Makabe, R., Ohtake, T., & Nomizu, T. Social Support, Psychological and Physical States among Japanese Elderly Women with Breast Cancer. The 16<sup>th</sup> International Conference on Cancer Nursing, 3/9/2010. Atlanta, Georgia, USA.
- ③ Makabe, R. Evidence-based Nursing of Cancer Care in Japan: A Literature Review, The 16<sup>th</sup> International Conference on Cancer Nursing,

3/8/2010. Atlanta, Georgia, USA.

- ④ Makabe, R. Social Support among Elderly Women with Breast Cancer: A Literature Review, The 15<sup>th</sup> International Conference on Cancer Nursing, 8/18/2008. Singapore.
- ⑤ Makabe, R., Ohtake, T., & Nomizu, T. Components of Social Support among Japanese Elderly Women with Breast Cancer: A Content Analysis of Interviews, The 10<sup>th</sup> World Congress of Psycho-Oncology, 6/11/2008. Madrid, Spain.
- ⑥ Makabe, R., & Nomizu, T. A Longitudinal Study of Social Support, Psychological and Physical States among Japanese Women with Breast Cancer, The 32<sup>nd</sup> Oncology Nursing Society Annual Congress, 4/26/2007. Las Vegas, NV, USA.

[図書] (計 2 件)

- ① 真壁玲子 (佐藤栄子編). 日総研. 中範囲理論入門 (第2版). V 看護援助 (介入), 患者教育への活用: 8 ソーシャル・サポート, 2010, 488-508.
- ② 真壁玲子 (小笠原知枝、松木光子編). ヌーヴェルヒロカワ. これからの看護研究: 基礎と応用: 応用編 (第2版) 第23章: 縦断的研究, 2007, 339-350.

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

真壁 玲子 (MAKABE REIKO)  
福島県立医科大学・看護学部・教授  
研究者番号: 70294098

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

なし